

私の視点

siten@asahi.com

ほうまさ
方正友好交流の会事務局長
おおるい よしひろ
大類 善啓



◆日中友好

日本人公墓を知っていますか

ピン市郊外の方正県に建立されていることを知る人はまだ少ない。

とまで届き、日本人公墓の建立が許可された。中国ではまだ日本の侵略に対する恨みが衰えていない1963年、日中が国交を回復する10年ほど前のことである。一部の日本軍国主義者と日本の人民を区別する」という新中国の方針に基づいた、階級的観点から公墓を建設してくれたのだからと、冷やかに言うことは易しい。

3・3坪の石碑は、2日ばかりで、ハルビンから方正県まで運ばれた。まだ貧しかった中国だが、それでも大金を投じて日本人公墓を建立してくれたのだ。

日中両国で屈折したナシヨナリズムが台頭する昨今、民族の憎悪を乗り越えて建立された日本人公墓は、これからの日中関係のみならず、今後の世界のありようを考える時、極めて示唆に満ちた存在だ。長年にわたって墓守をおき、日本人公墓を維持管理している中国に、我々は何ができるのか。国交正常化35年の今、改めて問われているのではないだろうか。

今年の日中両国が国交を正常化して35年になる。記念すべき年ということ、両国ではさまざまな交流行事が行われている。お互いに胸襟を開いて語り、知り合い、今まで抱いていた悪い固定したイメージが、氷解する話を聞くのはうれい。

しかし先の戦争で亡くなった残留婦人や孤児などおよそ千人といわれる死者たちを葬る日本人公墓が、旧満州の地、黒竜江省ハルビン市郊外の方正県に建立されていることを知る人はまだ少ない。

とまで届き、日本人公墓の建立が許可された。中国ではまだ日本の侵略に対する恨みが衰えていない1963年、日中が国交を回復する10年ほど前のことである。一部の日本軍国主義者と日本の人民を区別する」という新中国の方針に基づいた、階級的観点から公墓を建設してくれたのだからと、冷やかに言うことは易しい。

3・3坪の石碑は、2日ばかりで、ハルビンから方正県まで運ばれた。まだ貧しかった中国だが、それでも大金を投じて日本人公墓を建立してくれたのだ。

日中両国で屈折したナシヨナリズムが台頭する昨今、民族の憎悪を乗り越えて建立された日本人公墓は、これからの日中関係のみならず、今後の世界のありようを考える時、極めて示唆に満ちた存在だ。長年にわたって墓守をおき、日本人公墓を維持管理している中国に、我々は何ができるのか。国交正常化35年の今、改めて問われているのではないだろうか。

しかし先の戦争で亡くなった残留婦人や孤児などおよそ千人といわれる死者たちを葬る日本人公墓が、旧満州の地、黒竜江省ハルビン市郊外の方正県に建立されていることを知る人はまだ少ない。

とまで届き、日本人公墓の建立が許可された。中国ではまだ日本の侵略に対する恨みが衰えていない1963年、日中が国交を回復する10年ほど前のことである。一部の日本軍国主義者と日本の人民を区別する」という新中国の方針に基づいた、階級的観点から公墓を建設してくれたのだからと、冷やかに言うことは易しい。

3・3坪の石碑は、2日ばかりで、ハルビンから方正県まで運ばれた。まだ貧しかった中国だが、それでも大金を投じて日本人公墓を建立してくれたのだ。

日中両国で屈折したナシヨナリズムが台頭する昨今、民族の憎悪を乗り越えて建立された日本人公墓は、これからの日中関係のみならず、今後の世界のありようを考える時、極めて示唆に満ちた存在だ。長年にわたって墓守をおき、日本人公墓を維持管理している中国に、我々は何ができるのか。国交正常化35年の今、改めて問われているのではないだろうか。

投稿は、〒104・8011朝日新聞声・主張面「私の視点」かsiten@asahi.comへ。電子メディアにも収録します。